

## 「ていねいに暮らす」を畳から—Part B

2012年に、「5日で5000枚のやくそく」プロジェク

トを始めました。これは、災害がおきた時に、

避難所に新しい畳をとどけるプロジェクトです。

きっかけは2011年3月におきた東日本大震災でした。

ブルーシートをしいた体育館のつめたい床に多くの

人たちがいらっしゃるのをテレビで見て、「畳があったら痛みが和らぐんじゃない

か。畳をとどけたい」と思ったんです。畳屋の仲間に、この話をすると、みんなが

いっしょにやろうと言ってくれました。今、北海道から九州まで、約500店が参加しています。

「5日で5000枚の約束」プロジェクトの仕組みは、まず、メンバーは、畳を

何枚提供できるか申告しておきます。10枚でも、1枚でもいい。運搬費もメンバ

ーがはらいます。災害がおこったら、その被災地の無事なメンバーが避難所に行っ

て、何枚必要かをメンバーに伝えます。それが1日目です。そして2日目からメン

バーが作り始めて、4日目に運搬します。5日目にその被災地のメンバーが畳をうけ

とって、避難所にとどけます。各都道府県で100枚ぐらいを目標に始めたので、ぜ

んぶで約5000枚です。これが5日で5000枚、ということです。

メンバーみんなが地元の人役に立ちたい、自分たちの地域を守りたいという思い

を強くもっています。だから「やくそく」なんです。やくそくは義務よりも重いと思

っています。



初めての活動は2014年、長野の地震の時です。40枚の畳をとどけました。2015年には2回。そして2016年4月の熊本地震では避難所40カ所に6000枚、とどけました。

畳の大きさは地域によってちがいますが、このプロジェクトでは大きさや、やわらかさを同じにしています。また、かるく、使いやすくしています。

本当に必要なものやタイミングは被災地にしかわかりません。だから、その地域の

仲間が、避難所の状況をよく見て、避難所にとどけるのです。畳店しかできない活動をつづけていきたいと思います。



たたみの表面。イグサでできている。

## Part B Vocabulary list

ていねいに	Thoughtfully; with care	うんぱんひ 運搬費	Transportation costs
く 暮らす	To live [daily life]	ひさいち 被災地の無事な メンバー	Members in the disaster area who are not harmed
やくそく	Promise	つた 伝える	To tell; to pass on
さいがい 災害	Disaster	うんぱん 運搬する	To transport
ひなんじょ 避難所	Evacuation shelter	かくとどうふけん 各都道府県	Each prefecture (there are 47 prefectures in Japan)

とどける	To deliver	もくひょう 目標	Aim; target
きっかけ	What starts something, the occasion or opportunity for beginning something	じもと ひと やく 地元の人の役に た 立ちたい	Want to be helpful to the local people
ひがしにほんだいいんさい 東日本大震災	2011 Tohoku Earthquake	ちいき まも 地域を守りたい	Want to protect local areas
たいいくかん 体育館	Gymnasium	ぎむ おも 義務よりも重い	greater responsibility than duty
ゆか 床	Floor	かつどう 活動	Activity
ブルーシート	Vinyl sheet; waterproof sheet	じしん 地震	Earthquake
いらっしゃる	Honorific form of いる	ひつよう 必要なもの	Necessities
いた やわ 痛みが和らぐ	To ease the pain	ひきいち 被災地	Damaged area; disaster area
いっしょにやろう と言ってくれた	Thankfully, they agreed (lit., they kindly said 'let's do it together')	じょうきょう 状況	Condition; state; situation
なんまいていきょう 何枚提供できる か しんこく 申告しておく	To declare, in advance, how many (tatami) they can provide		